

フォーラム

本プログラムの推進のため年2回程度フォーラムを開催しています

毎年、臨床指導者養成教育コース推進フォーラムや地域包括ケア人材養成コース推進フォーラムを開催し、本事業について報告するとともに、実際のニーズに合わせて講師を招聘し、講演会やシンポジウムなどを開催しています。詳しい内容等については、ホームページでご案内しています。



受講者の声

高度リハビリテーション専門職養成教育プログラムを受講した方の声です

臨床指導者養成教育コース

島しょ部でも無理なく受講できました



本村 一道 さん
(平成28年度受講者)

「質の高い臨床実習指導方法を学ぶこと」を目的に受講しました。当院は島しょ部であり、他施設との情報交換の機会を得ることもでき、またeラーニングを中心としたプログラムのため、勤務上負担の少ない研修であったと実感しました。

集中講義「CCS」や実習モニタリングを通して、実習生が医療チームの一員として実際の診療に参加し、より実践的な臨床能力を身に付けることを意識した環境づくりができました。

上五島病院 理学療法士

施設全体での実習体制を構築できました



山井 亨 さん
(平成28年度受講者)

「CCSの臨床実習指導を学ぶ」ことを目的に受講しました。集中講義「CCS」の内容を基本に施設全体で臨床実習の指導内容を検討したことで、実習生をチームの一員として捉えるきっかけとなり、臨床スキルを高める意識づけに繋がりました。また、精神科領域での指導において悩むこともありましたが、実習モニタリングにより

OJT指導者の考え方を知ることができ、実習生に対するフィードバックへ生かすことができました。

道ノ尾病院 作業療法士

地域包括ケア人材養成コース

地域での活動を始めるきっかけになりました



杉本 寿代 さん
(平成28年度受講者)

本コースを受講した理由は、当院の「地域住民の命とくらしを守る病院」の理念の元、PTとして地域住民の為に出来ることを実践したいという気持ちからでした。本コースでは施設見学や、介護予防事業への参加等、実際の現場に行き学ぶことができました。

「地域包括ケアシステムの概念に沿って、地域に密着した病院・施設に事業へご協力願いたい」というお話を頂き、平成29年度より、生涯元気事業の講師として活動を始めました。

長崎友愛病院 理学療法士

多くの方に受講してほしいコースです



前山 隆史 さん
(平成28年度受講者)

本コースは地域包括ケアシステムに関連した講義と実習中心で構成されていて、日頃から地域の関係機関・団体の方と仕事をする機会が多い私にとって、非常に学びの多い内容でした。また、eラーニングを用いた講義形式も採用されており、無理なく自分のペースで受講できました。

今後、地域で活動するリハ専門職がますます求められる時代になると思います。この機会に是非、多くの方に受講してもらえたらと思います。

長崎県県南保健所 作業療法士



文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」採択事業
高度リハビリテーション専門職の養成
ー長崎地域包括ケアシステムを活用したプログラムー
Training Program for Advanced Rehabilitation Professionals



【お問い合わせ】

長崎大学医学部保健学科 保健学実践教育研究センター

〒852-8520 長崎県長崎市坂本1-7-1 TEL/FAX 095-819-7937

ホームページ <http://www2.am.nagasaki-u.ac.jp/ptotgp/>

Facebook <http://www.facebook.com/ptotgp>



質の高い臨床実習指導者と 地域包括ケアをマネジメントできる 理学療法士・作業療法士の輩出を目指します。

本事業の概要

近年の医療の高度化・専門分化の進展により、複数の医療スタッフが組織的に診療に取り組むチーム医療の重要性が高まっています。また、リハビリテーションに対するニーズも医療から保健・福祉の領域まで多様化し、科学的根拠に基づいた適切な対応と地域包括ケアへの貢献が求められています。

本事業では、本学がこれまで取り組んできたチーム医療教育と、長崎圏域における地域包括ケアネットワークを活かして、2つの教育プログラムを実施しています。

1. チーム医療実践教育・臨床実習推進プログラム（学内教育）

チーム医療を実践できる人材養成を目的として、1年次から4年次まで段階的に他学科・他学部との共修科目を配置しています。また、臨床実習における教員－臨床実習指導者－学生間の相互連携の強化を目的として、臨床教授等を登用した実習前セミナーの実施や、総合臨床実習終了後の学内セミナーへの臨床実習指導者の参画を促進しています。



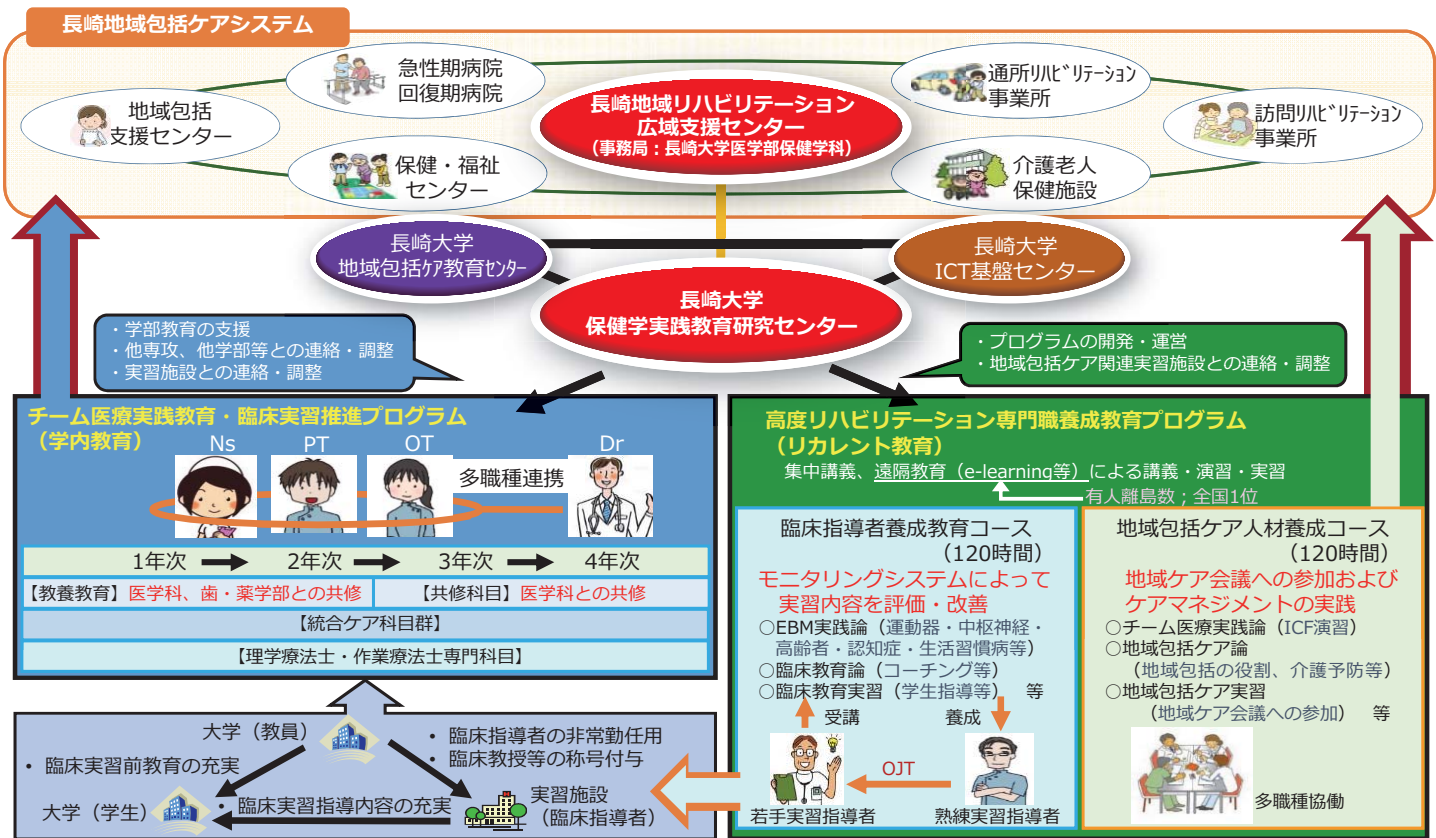
1年次共修科目の様子



2年次共修科目の様子



実習前セミナーの様子



2. 高度リハビリテーション専門職養成教育プログラム（リカレント教育）

質の高い臨床実習指導者の養成と臨床教育の充実を目的とした**臨床指導者養成教育コース**と、地域包括ケアに寄与できる指導力を有する理学・作業療法士の養成を目的とした**地域包括ケア人材養成コース**を開講しています。それぞれ、eラーニング、集中講義、演習からなる120時間・6ヶ月間のコースです。長崎県の地理的条件（有人離島数全国1位）を考慮して、遠隔地からも受講できるよう、eラーニングシステムを導入しています。修了者には日本理学療法士協会及び日本作業療法士協会より履修ポイントが付与されます。

臨床指導者養成教育コース

本コースはコーチングやクリニカル・クラークシップに関する集中講義を含む臨床実習に関連する内容と、各疾患に関わるトピックス的内容から構成されています。さらに、実際の臨床実習指導において、職場内OJTと本学教員による実習モニタリングシステムを導入しています。対象は臨床実習指導に関わる理学療法士・作業療法士で、募集人員は各年度40名です。

【受講者数】 平成28年度40名（島しょ部在住者1名、長崎県外者1名含む）・修了者36名
平成29年度40名（長崎県外者2名含む）（開講中）



集中講義の様子



演習の様子



修了式の様子

地域包括ケア人材養成コース

本コースでは地域包括ケアシステム、地域の理解、介護予防の理論と実際、ICFの理論、地域ケア会議ならびにケアマネジメントに関して学びます。さらに、地域包括ケアに関わる施設の見学や、介護予防事業への参加、地域ケア会議またはサービス担当者会議への参加によるケアマネジメントの実践など、実習・演習を多く取り入れています。対象は長崎県内の理学療法士・作業療法士で、募集人員は各年度40名です。

【受講者数】 平成28年度50名・修了者45名
平成29年度41名（島しょ部在住者1名含む）（10月開講予定）

【実習施設】 地域包括支援センター31ヶ所、居宅介護支援事業所15ヶ所、
（平成28年度）回復期リハビリテーション病棟6ヶ所、介護老人保健施設4ヶ所、
訪問リハビリテーション9ヶ所、介護予防事業委託事業所19ヶ所、地域サロン2ヶ所



見学実習の様子



介護予防・健康づくり実習の様子



集中講義の様子

臨床指導者養成教育コース及び地域包括ケア人材養成コースは平成30年度まで開講予定です。